

## 見直しは市民の声を聞きながら！※④

宮崎市の公共施設に関する市民アンケート（2,000人対象）  
公共施設に関する課題解決に向けて、平成25年12月に市民意向調査を行いました。

### ■将来にわたって残すべき公共施設ランキング

「市の負担額が高くとも、利用者数が多い施設」は残すべきだと、市民の多くは考えています。

#### 上位の主な施設

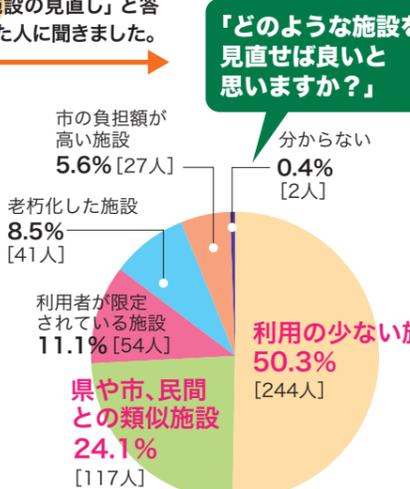
	施設名	建物の平均築年数 (平成24年度現在)	年間利用者 (平成24年度)	市負担額 (平成24年度)
1	夜間急病センター	民間からの借受施設	24,379人	5,191万円
2	宮崎市民文化ホール	16.0年	295,129人	2億2,473万円
3	フェニックス自然動物園	23.5年	326,074人	3億1,187万円
4	宮崎市立図書館	18.0年	303,833人	1億6,834万円
5	生目の杜運動公園	8.9年	278,596人	1億8,047万円
6	宮崎科学技術館	25.0年	144,715人	1億7,367万円
7	フローランテ宮崎	13.9年	357,819人	2億1,100万円
8	阿波岐原森林公園	17.0年	—	3,781万円
9	市総合体育館	13.8年	188,346人	1億8,289万円
10	宮崎市民プラザ	12.0年	234,051人	1億9,449万円
11	市総合福祉保健センター	18.0年	74,226人	1億8,289万円
12	大淀川学習館	12.9年	168,863人	8,941万円

#### 20位以下の施設 ※今回の特集で取り上げた施設を抜粋しています。

25	みやざき歴史文化館	21.0年	58,246人	6,675万円
27	生目の杜遊古館	3.9年	32,614人	6,278万円
33	天ヶ城歴史民俗資料館	19.0年	21,121人	1,618万円
37	きよたけ歴史館	11.3年	9,475人	1,595万円
40	佐土原歴史資料館	17.8年	25,790人	2,863万円
46	椿山キャンプ場	20.9年	1,614人	669万円

※抜粋して、回答数の多かった順に並べています。(市ホームページで確認できます)

### ■必要な公共施設を維持するための考え



次ページへ続く

## 【特集2】

# どうする？



**B**：それでも、公共施設を見直すってことは、結局のところ、私たちが不便になるってことじゃないかな？

**職員**：確かに、公共施設の在り方が変わることは私たちにあって「痛み」なのかもしれない。しかし、公共施設の費用を、福祉や教育などのサービスに振り替えることができれば、暮らしをもっと便利で快適なものにできます。

**A**：宮崎市に住みやすいまちであり続けるための見直しということですね。

**職員**：そして、その恩恵は将来世代にも受け継がれます。現役世代も将来世代も笑顔でいられる宮崎市を、一緒に作っていきませんか？

**B**：それだと、利用者が限られる地域の施設だけが減るんじゃないのかな？

**職員**：そうならないように、さまざまな角度から検討しています。市民の皆さんのご意見をお聞きするために、平成25年12月にアンケート(※④)も実施しました。

**A**：見直す施設は何を基準に決められるのですか？

**職員**：利用者数や費用、築年数、民間や市の施設との重複などを基準にしています。

**B**：見直す施設は市民の皆さんの税金に支えられています。今後は、人口や税収入が減る一方で、社会保障費が増えていくことが確実なので、福祉や教育のサービスを削らないためには、人口に合わせて公共施設の量を調節しないといけないんじゃないかな？

**職員**：公共施設は市民の皆さんの税金に支えられています。今後は、人口や税収入が減る一方で、福祉や教育のサービスを削らないためには、人口に合わせて公共施設の量を調節しないといけないんじゃないかな？

# 公共施設

市は、これまで、人口増加や市民ニーズの多様化などに対応するため、さまざまな公共施設を整備してきました。そして現在、人口減少や老朽化などの問題で公共施設の在り方の見直しを進めています。

[問い合わせ先] 財政課 ☎21-1723



**A**：公共施設を見直してどうするって本当？

**職員**：はい。少子高齢化による人口減少(※①)や社会保障費の増加(※②)、利用者の減少のため、すべての施設の保持は難しいと判断し、見直しています。

**B**：少子高齢化が進むと、なぜ施設の保持が難しいの？

**職員**：公共施設は市民の皆さんの税金に支えられています。今後は、人口や税収入が減る一方で、福祉や教育のサービスを削らないためには、人口に合わせて公共施設の量を調節しないといけないんじゃないかな？

**A**：でも、公共施設って何に費用がかかっているんですか？

**職員**：通常の管理費と修繕更新費用(天規模な修繕と建替費用(※③))です。全ての施設を保持しようとすると、一年当たりの修繕更新費用は平成25年度予算の2.4倍になります。

**B**：これから、公共施設はどうなるの？

**職員**：処分・再配置・経営の改善などを含めて抜本的に在り方を見直ししながら、公共施設の全体の量を調節していきます。

**B**：フローランテや科学技術館、大淀川学習館、動物園のように子どもとよく行く施設は、残してほしいんだけど…。

**A**：公共施設を見直してどうするって本当？

**職員**：はい。少子高齢化による人口減少(※①)や社会保障費の増加(※②)、利用者の減少のため、すべての施設の保持は難しいと判断し、見直しています。

**B**：少子高齢化が進むと、なぜ施設の保持が難しいの？

**職員**：公共施設は市民の皆さんの税金に支えられています。今後は、人口や税収入が減る一方で、福祉や教育のサービスを削らないためには、人口に合わせて公共施設の量を調節しないといけないんじゃないかな？

**A**：でも、公共施設って何に費用がかかっているんですか？

**職員**：通常の管理費と修繕更新費用(天規模な修繕と建替費用(※③))です。全ての施設を保持しようとすると、一年当たりの修繕更新費用は平成25年度予算の2.4倍になります。

**B**：これから、公共施設はどうなるの？

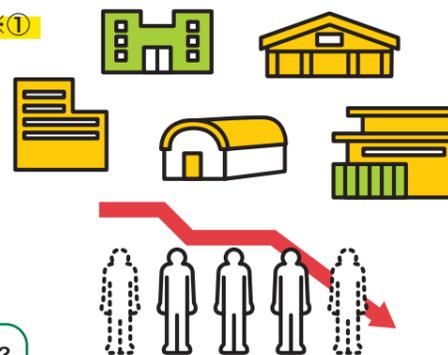
**職員**：処分・再配置・経営の改善などを含めて抜本的に在り方を見直ししながら、公共施設の全体の量を調節していきます。

**B**：フローランテや科学技術館、大淀川学習館、動物園のように子どもとよく行く施設は、残してほしいんだけど…。

## 市の人口は30年で5万人減少！

子ども・働き手  
約9万人減少※①

高齢者  
約4万人増加

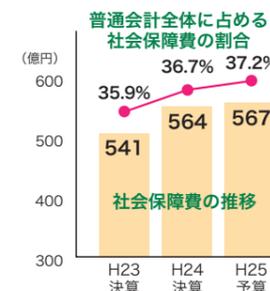


国立社会保障・人口問題研究所によると、現在40万人が暮らす宮崎市は、2040年に35万人程度に減少する見込みです。

## 少子高齢化・老朽化で負担が増大！

社会保障費も増加！※②  
25年度当初予算1,527億円のうち  
社会保障費(繰入金含)は567億円で

# 1/3以上

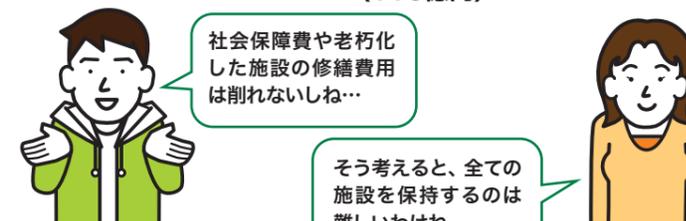


### 修繕更新費も増加！※③

全ての施設を修繕しようとすると  
平成25年度予算  
修繕更新費用49億円の

# 2.4倍必要

(116億円) ※1年あたり



### 【解説】あの人気施設はどんなの？

#### 老朽化

宮崎科学技術館は「科学と遊ぶ」をテーマに、昭和62年に開設。大淀川学習館は大淀川学習のシンボルとして平成7年に開設。どちらも老朽化が見える部分もあり、将来多額の修繕更新費が見込まれています。



#### 高い負担額

フローランテは「花のまちづくりの推進拠点」として平成12年に開園。動物園は平成13年から市民に憩いの場を提供してきました。両施設も、入園者数は増加傾向ですが、市の負担額が高い状態です。

